

規則改定の一部

1月1日より適用

競技委員会

旧	新
	出発合図が発せられる前の失格判定は、審判長と出発合図員の両者によって行われる。(第4条 出発に追加)
スタートおよび折り返し後の一かき目は完全に脚のところまで持っていくことができる。その間泳者は水没状態であってもよい。最初の一かきをしている間に、次の平泳ぎの蹴りにつながるバタフライキックが1回許される。(競技規則第7条平泳ぎ1 p.12)	スタートおよび折り返し後の一かき目は完全に脚のところまで持っていくことができる。その間泳者は水没状態であってもよい。スタート後、折返し後に、最初の平泳ぎの蹴りの前にバタフライキックが1回許される。

※平泳ぎに関しては、スタート後、折り返し後は最初の平泳ぎの蹴りの前であれば、どこでバタフライキックを行ってもよくなります。